

第38回全商女性連 三重全国大会

平成18年11月21日(火)〜22日(水)

東商女性会からは49名が参加し、名古屋駅に集合・出発いたしました。

「文句なしの秋晴れにポツカリと浮かんでいる秋雲。どうかご無事でこの旅が和やかでありますように」と祈る志摩観光バスガイドの美しい声と共に、名古屋駅を出発し、まずは食欲の秋とばかりに「おかげ横丁」にある『すし久』で、郷土料理の「てこね寿し」に舌鼓を打つところから、この旅は始まりました。

続いて、風も変わり凜として息づく古の限らない尊さの中、皇室のご祖神の天照大神をお祀りする、我が国で最も有名な神社のひとつである伊勢神宮を参拝いたしました。二拝二拍手一拝で東商女性会一同心一つにして掌を合わせました。

その後、三重県営サンアリーナにて、掛け声高らかに木遣りと和太鼓の音に始まる大懇親会が行われました。懇親会の献立は伊勢海老、牡蠣、雲丹御膳など伊勢志摩名産の味



を存分に楽しみながら交流を深めました。

翌日、太平洋から昇る靈験あらたかな朝日を拝みつつ、心を新たにしてくださいました。全国商工会議所女性会連合会旗入場から始まり、国歌、女性の歌に続いて「商工会議所女性会活動指針」を、全国からなんと3200人の会員の方々が集

い一体となって唱和し、その熱気が会場に満ち溢れました。「昭和44年の設立以来、女性経営者の相互の連携を深め、商工会議所活動を通じて



地域の商工業の振興にも努め、福祉活動、国際交流、さらには環境問題への取り組みに貢献されたことに深く敬意を表します」と、野呂昭彦三重県知事からのご挨拶を戴きました。安倍晋三総理大臣のメッセージも齋藤朝子会長により伝えられ、佐藤樹一郎経済産業省中部経済産業局長からも励ましの言葉を戴きました。第5回女性起業家大賞授賞式もあり、最優秀賞の池田治子氏を始めとして11名の方々が受賞されたことに、会員一同感激し大きな拍手で祝福しました。次回の富山県に会旗が渡され、無事に閉会となりました。

記念講演会は「最新の免疫力をつける食生活と笑いまで」と題し、藤田紘一郎東京医科歯科大学名誉教授から、女性はいつまでも美しくなければならぬ、それには①細菌を大切に、②自然と触れ合う、③穀物、野菜、果物を摂る、そして大きな声で笑うことが免疫のバランスを良くすることを伺い、有意義なお話一同驚きながらも納得しました。

その後、東商女性会のメンバーは賢島エスパリーニャクルーズにて、あご湾の遊覧と日本の文化である真珠の養殖を見学し、有意義で心満たされたつつ三重での全国大会参加の旅が日暮れと共に終わりました。

(記：松平洋史子)



第22回関東商女性連總會 甲府大会

平成18年4月14日(金)



第22回関東商工会議所女性会連合会総会甲府大会が、多数の来賓の方々、ならびに茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、山梨、静岡各県と東京の70女性会より、総勢700名余り、東商女性会からは54名の参加

のもと甲府市にて、盛大に開催されました。会場となった甲府富士屋ホテルでは、総会、歓迎イベントの後、アトラクション、そして懇親会が催されました。



総会では、今回初めて政策委員会
が実施した女性経営者支援事業「チ
ア！ ビジネスウーマン2005」



の報告等があり、また、役員の改選の結果、引き続き小泉清子会長が再選されました。歓迎イベントでは、

山梨県産ワインのテイスティング講座、山梨県産品の販売が行われ、チャペルではソプラノ歌手によるコンサートが催されました。続くアトラクションでは、山梨県特産品の宝石をPRする『2006ジュエリーファッションショー』が行われ、各地女性会の会員が混合でテーブルについた懇親会では和やかな交流が行われました。

(記：志摩淑子・西尾多恵子)

